

都市再生整備計画 事後評価シート
安城矢作川水辺地区

平成23年3月

愛知県安城市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県	市町村名	安城市	地区名	安城矢作川水辺地区	面積	662.5ha				
交付期間	平成20年度～平成22年度	事後評価実施時期	平成22年度	交付対象事業費	163百万円	国費率	0.399				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市道 小川安城線、市道 南門原三ツ塚線、市道 藤井東井筋自転車道線)、地域生活基盤施設(駐輪場)、高質空間形成施設(照明灯、公衆トイレ)								
		提案事業	地域創造支援事業(文化的遺産再生事業)、まちづくり活動推進事業(レンタサイクル社会実験)								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園(藤井河川敷公園)	公園の整備内容見直しにより、高質空間形成施設として実施することし削除		整備内容の見直しを行ったことにより、地区内コミュニティ空間整備面積に変更が生じたため、目標値を変更する。(19㎡/人 15㎡/人)					
		提案事業	事業活用調査(事業効果分析)	市単独事業により実施することし削除		提案事業から削除したが、指標への影響はないと考え、数値目標は据え置く。					
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(コミュニティ空間)	公園の整備内容見直しにより、高質空間形成施設として実施することし追加		整備内容の見直しを行ったことにより、地区内コミュニティ空間整備面積に変更が生じたため、目標値を変更する。(19㎡/人 15㎡/人)					
		提案事業	-	-		-					
交付期間の変更	当初	平成20年度～平成22年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標1	エコ転換率	%	3	H19	13	H22	9	あり	道路、駐輪場等の整備により自転車等利用における利便性、快適性等が向上しているが、事業期間内では十分な効果発現に至らなかった。	平成23年6月
	指標2	コミュニティ空間度	㎡/人	12	H19	15	H22	15	あり	コミュニティ空間の整備によりレクリエーションの場として利用可能な施設の面積が増大した。	平成23年6月
	指標3	大量輸送機関停車場数	箇所	6	H19	7	H22	10	あり	コミュニティバスである「あんくるバス」の停留所が、市道小川安城線整備やバス路線再編に伴い設置され、地区内の大型輸送機関停車場数が増加した。	
	指標4								あり		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	その他の数値指標1	公共交通機関への転換	人	5,540	H19		6,865			道路、駐輪場、公衆トイレ等の整備により駅利用者の利便性、快適性等が向上し、公共交通機関への転換につながった。	平成23年8月
	その他の数値指標2										
その他の数値指標3											
4)定性的な効果発現状況	文化的遺産再生事業をきっかけに、地元の活動団体である「本證寺ハスの会」が立ち上げられ、本證寺堀のハスの生育状況の観察や、外来種の駆除活動等が行われている。本證寺ハスの会の活動により、本證寺の堀にハスの花が咲くようになり、ハスの会メンバーからは「ハスを見に訪れる人も増えており、うれしい」といった話も出ており、文化的遺産の保全に対する効果と考えられる。また、毎年地区内を流れる矢作川河川敷にて、川と海のクリーン大作戦という地元住民と協働した河川敷の清掃活動が行われており、清掃活動を通して参加者の矢作川への愛着が感じられ、自然環境に親しむ場の創出に対する効果と考えられる。										
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	住民参加による新駅の利用促進		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後もまちづくりに対する市民の活動が起きた際には支援していく。			
	持続的なまちづくり体制の構築	自然環境を活かしたレクリエーション的活用		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				今後も、市民と行政が一体となった各種イベントを企画、運営または援助していく。			

様式2-2 地区の概要

安城矢作川水辺地区(愛知県安城市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標: 地域資源と調和した環境共生づくり 目標1) 地域を流れる河川の河川敷や堤防を利用し、自然環境に親しむ場を創出する。 目標2) 鉄道や自転車を活用した自動車利用の抑制により環境負荷の低減を図る。 目標3) 歴史的価値観を広めるため、文化的遺産の保全や自然的遺産の活用を図る。	エコ転換率	単位: %	3 H19	13 H22	9 H22
	コミュニティ空間度	単位: m ² /人	12 H19	15 H22	15 H22
	大量輸送機関停車場数	単位: 箇所	6 H19	7 H22	10 H22
	公共交通機関への転換	単位: 人	5,540 H19	-	6,865 H22
		単位:	H		H

【道路 市道 小川安城線】



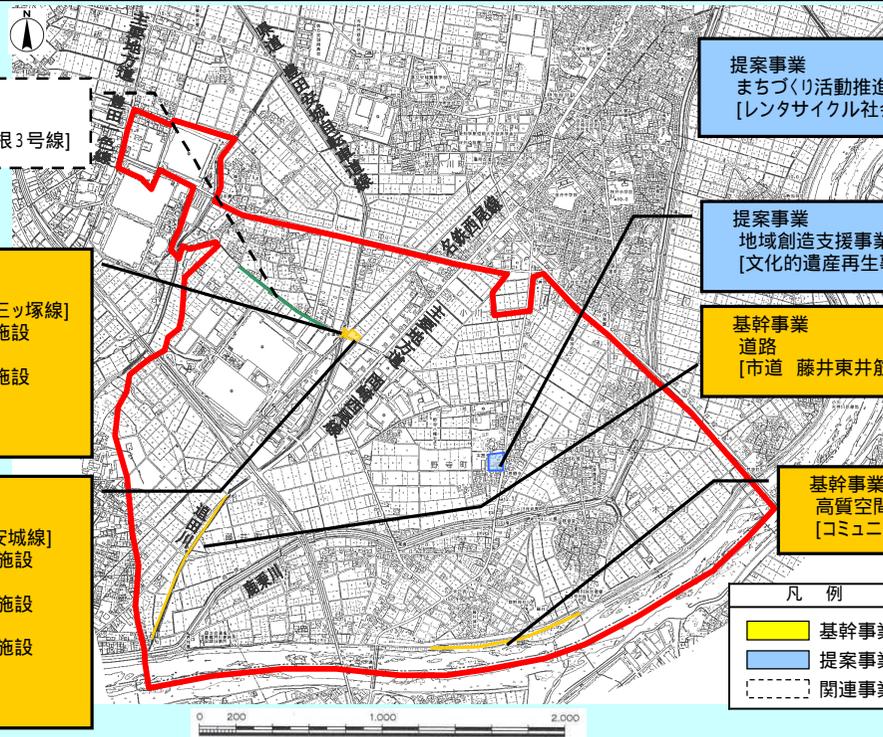
関連事業
道路
[市道 山田首根3号線]

基幹事業
道路
[市道 南門原三ッ塚線]
地域生活基盤施設
[駐輪場]
高質空間形成施設
[照明灯]

【地域生活基盤施設 駐輪場】



基幹事業
道路
[市道 小川安城線]
地域生活基盤施設
[駐輪場]
高質空間形成施設
[公衆トイレ]
高質空間形成施設
[照明灯]



提案事業
まちづくり活動推進事業
[レンタルサイクル社会実験]

提案事業
地域創造支援事業
[文化的遺産再生事業]

基幹事業
道路
[市道 藤井東井筋自転車道線]

基幹事業
高質空間形成施設
[コミュニティ空間]

凡例
 基幹事業
 提案事業
 関連事業

【道路 市道 藤井東井筋自転車道線】



【高質空間形成施設 公衆トイレ】



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境を有効活用した市民の憩いの場・健康づくりの場の創出が課題であったが、コミュニティ空間の整備等により、市民の憩いの場や健康づくりの場が形成された。 ・南桜井駅開業に伴う駅前広場の整備、自動車からの転換促進が課題であったが、駐輪場等の整備により公共交通の利用促進が進みつつあるものの、事業期間内においては十分な効果発現には至っておらず、公共交通機関や自転車への転換をさらに促進するための対策が必要。 ・県指定史跡である本證寺を地域コミュニティの場として有効活用させるための改善が課題であったが、本證寺の再生に対する取り組みを通じ、地域コミュニティの活性化が図られ、歴史的文化的財に対する価値観が高まった。 ・エコ転換が進み、自転車利用者が増加しつつあることから、今後、駐輪場の収容可能台数を上回る利用が生ずる可能性がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ空間の有効活用 ・整備されたコミュニティ空間等の一層の利用増進を図るとともに、当該施設を活用し地域住民同士の交流を深め、地域コミュニティのさらなる活性化を図る。 ・自動車からの転換促進 ・引き続き自動車利用からの転換を促進し、環境負荷の低減を図るとともに、自転車等の快適な利用環境の維持・向上に努める。 ・文化的遺産の保全 ・再生された文化的遺産を地域住民と協働して保全していくことで、文化的遺産との共生を図り、地域コミュニティの場として有効活用していく。 ・駐輪場の収容台数確保 ・駐輪場の収容台数を確保することにより、自転車の利用環境向上を図る。